児童虐待について

子殺し、親殺しの凄惨な事件の裏には、子供の虐待が原因となっていたり、トラウマになっているケースが多々あるようだ。虐待には身体的虐待、性的虐待、子育ての放棄、心理的虐待などいろいろなタイプがある。犠牲になっている子供たちを社会の力で何とか救えないものだろうか。

◇分野

親族法.家族法 324.6、家.家族関係 367.3、児童.青少年問題 367.6 性問題.性教育 367.9、児童福祉 369.4、家庭教育 379.9、 小児科学 493.9、内科的疾患 493.93、個人衛生 498.3、 小児衛生 498.7、和歌.短歌 911.1
--

虐待の実態（事件）

タイトル・著者・出版社・出版年	場所	請求記号	資料番号
『孤絶（家族内事件）』 読売新聞社会部／著 中央公論新社 2019	開架	367.3 ミ	013037551
『ルポ虐待（大阪二児置き去り死事件）』（ちくま新書） 杉山春／著 筑摩書房 2013	開架	369.4 キ	012801734
『児童虐待（親子という絆、親子という鎖）』 南部さおり／著 教育出版 2011	開架	369.4 カ	012683520
『子どもへの性的虐待』（岩波新書） 森田ゆり／著 岩波書店 2008	第1	367.9 リ	012599700
『セルフネグレクトと父親（虐待と自己放棄のはざま）』 石川瞭子／編著 青弓社 2019	開架	367.6 イ	013028964
『子ども虐待という第四の発達障害』 杉山登志郎／著 学研 2007	開架	493.93 キ	012508727

子どもたちのその後

『セーラー服の歌人 鳥居（拾った新聞で字を覚えたホームレス少女の物語）』 岩岡千景／著 KADOKAWA 2016	開架	911.1 ワ	012891586
『ルポ消えた子どもたち（虐待・監禁の深層に迫る）』（NHK出版新書）NHKスペシャル「消えた子どもたち」取材班・日本放送協会／著 NHK出版 2015	開架	367.6 ニホ	012884185

『ルポ居所不明児童（消えた子どもたち）』（ちくま新書）石川結貴／著 筑摩書房 2015	開架	367.6 イ	012858767
『消えたい（虐待された人の生き方から知る心の幸せ）』高橋和巳／著 筑摩書房 2014	開架	369.4 効	012816872
『誕生日を知らない女の子（虐待-その後の子どもたち）』黒川祥子／著 集英社 2013	開架	369.4 加	012809505

虐待を救う道

『メンタルヘルスの道案内（現代を生きる30章）』徳田完二・竹内健児・吉沅洪／編 北大路書房 2018	開架	498.3 ト	013008842
『「小さいのち」を守る（事故、虐待、いじめ…証言から学ぶ予防と対策）』朝日新聞取材班・朝日新聞社／著 朝日新聞出版 2018	開架	498.7 ア	013006291
『親権と子ども』（岩波新書）榊原富士子・池田清貴／著 岩波書店 2017	開架	S 324.6 効	012951232
『「愛されたい」を拒絶される子どもたち（虐待ケアへの挑戦）』椎名篤子／著 大和書房 2007	第1	369.4 シ	012520425
『子どもの福祉と子育て家庭支援』星野政明・川出富貴子・三宅邦建／編 みらい 2007	第1	369.4 ホ	012536140
『よくわかる家族援助論（やわらかアカデミズム・<わかる>シリーズ）』橋本真紀・山縣文治／編 ミネルヴァ書房 2007	第1	369.4 ハ	012507125
『見えない虐待』（生活人新書）廣中邦充・杉山由美子／著 日本放送出版協会 2006	第1	369.4 ヒ	012494498
『子どもの虐待防止とNGO（国際比較調査研究）』桐野由美子・石川洋明／編著 明石書店 2005	開架	369.4 キ	012432373
『脳と心のゆがみを正す子育て力』大島清／著 家の光協会 2004	第1	493.9 材	012268249
『カッとなって子どもを叩かない法（自分の気持ち子どもの気持ちわかるセルフ・カウンセリング）』渡辺ミサ／著 学陽書房 2002	第1	379.9 ワ	012169553
『子ども虐待を考えるために知っておくべきこと』滝川一廣・内海新祐／編 日本評論社 2020	開架	369.4 ヅ	013081898

<インターネットで調べる>

- ・子ども虐待とは。子ども虐待について

<http://www.orangeribbon.jp/about/child/abuse.php>

※ 詳しいことはカウンターでおたずねください。